



かたぐい



令和4年度
第51号

2023.2.15

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

「令和4年度の取組のふり返り」

☆子どもたちについて

○新型コロナウイルスにかかわる学校生活への影響について

→第6波までの影響により、

修学旅行（6年）→6/16（木）～17（金） 行き先は、横手市、湯沢市、由利本荘市、にかほ市。

給食での黙食、縦割り活動の中止や制限

→第7波により、

9/12（月） 2、5年学年閉鎖 9/13（火）～16（金） 臨時休校

くりっこフェスタ→9/17（土）から11/23（水）へ ※スポーツとの兼ね合いによる延期の難しさ

スポーツフェスタ→10/22（土）から10/28（金） ※雨天による延期だったが「くりっこフェスタ延期」により休日とれず

→マスクの着用や手洗いの励行、朝の体調観察（家庭）が定着。

→給食での黙食は緩和されたが、子どもたちは会話に慣れず黙食のまま。

→延期や内容変更等はあったが、中止の行事はない。

→卒業式は、感染対策をし、来賓なしで実施予定。参加者（保護者等）の人数制限は設けない予定。マスクの着脱については、卒業生は、マスクなしで、その他は検討中。



○いじめ報告件数0（4～1月） ※子どもたち同士のトラブルは毎日のように発生しているが…

・毎月、相談カードによるいじめに関するアンケートを実施。トラブルや訴えに対して担任が即時面談し対応することで、発達支持的・課題予防的生徒指導に努めている。

☆学校教育目標について ※学校評価アンケート結果をもとに

「夢ふくらませ 心かがやく」（夢をもとに、地域を知り、地域を愛し、地域に貢献しようとする志へと変えていく）
～心豊かにたくましく、挑戦することで自信を深め、新たな自分を獲得できる子どもの育成～

※数値は学校評価アンケート関連設問でのB評価以上の合計

※「保」は保護者アンケート、「児」は児童アンケート、○数字は設問番号

【心豊かな子】

○人の気持ちを思いやり、互いに認め合い、仲良く協力できる子ども

児②97.3%、児③96.4%、保⑥94.4%

- ・くりっこチャレンジなど友達のがんばりを応援。
- ・なかよしスキルタイムやQUアンケートを活用した学級経営。
- ・授業終盤での友達のよさを認め合うふり返り。
- ・清掃活動、給食準備、委員会活動、縦割り活動など学校生活全般。



○ふるさとを大切に、愛することのできる子ども

保③99.0%

- ・地域学校協働活動「くりっこ探検隊」、各種体験活動。

【たくましい子】

○心も体も元気で、挑戦する気持ちをもち、ねばり強くがんばる子ども

児⑥95.5%、児⑦94.5%、児⑧98.1%、児⑨94.6%、児⑩99.1%

- ・生活リズムの構築（早寝早起き、朝食、翌日の準備など）。
- ・休み時間の積極的な外遊びやパワーアップタイムのがんばり。
- ・家庭学習の継続。
- ・くりっこチャレンジでのがんばり（2/14現在347人が成功）。
- ・清掃活動、給食準備、委員会活動などでの責任をもった取り組み姿勢。



○自分の心や命を大切にできる子ども

保④98.1%、児⑭97.2%、児⑮98.2%、児⑯96.4%

- ・教育課程への安全教育や道徳教育のしっかりとした位置付け。
- ・教師による傾聴、承認、プロセス評価、失敗のポジティブシンキングの強化と継続。



【自らを高める子】

○「なぜ」「どうして」と問いを発し、進んで課題に取り組もうとする子ども

○自分の考えや意見をもち、互いにかかわり合って読み解き、学びを深める子ども

児⑩96.4%、児⑳98.1%、保㉑96.2%、保㉒90.6%

- ・「読み解く学び」と「自信を深めるふり返し」
- ・くりっこ探検隊活動での様々な方々とのかかわりや対話。
- ・ICTの活用。
- ・授業での教師の仕掛け。



☆授業改善について

・「読み解く学び」と「自信を深めるふり返し」を共通実践事項として、取り組んできた。「自信を深めるふり返し」については、その時間の学習でわかったことやわからなかったことを自覚するだけでなく、「〇〇さんの説明が、わかりやすかった」「△△さんの意見で考えが変わった」など、他者を認めるふり返りが多く見られた。「読み解く学び」については、重点2年目になり、子どもたちにも浸透してきている。しかし、「対話」ではなく「発表しあい」で終わってしまう場面も散見している。他者との対話を通して、よりよい考えへとしっかりとつなげていきたい。そのためには、「個が、しっかりと自分の考えをもつ」ことと「比べながら聞く・話す」ことが大切である。この点を意識して、年度末まで、しっかりと子どもたちを育てていきたい。

☆地域学校協働活動について

・推進員と実行委員の皆様のご尽力、案内人や保護者の皆様のご協力により、「夢をもとに、地域を知り、地域を愛し、地域に貢献しようとする志へと変えていく活動」を実施できた。ただひたすら感謝である。

・来年度は、以下の方向性を意識して進める。

- ①今年度と同様に各学年ごとの計画
- ②開催時期の早期決定と保護者等への周知
- ③「対話」のための時間的余裕の確保（精選、分散、事前、事後等）
- ④「くりっこ」の由来であるかたくりや西明寺栗を通した四季を通した変化の体感
- ⑤これまでの体験学習や校外学習とのリンク
- ⑥事前学習及び事後学習（ふり返し）の充実
- ⑦何らかの形での活動報告や提言発表の場の設定
- ⑧戸沢氏祭りへの参加・協力
- ⑨実行委員会体制の再編（学年部実行委員会の新設）



☆ICTの活用について

・コロナ禍での第7波の影響で休校となったことで、学校でのICT活用だけでなく、家庭への持ち帰りやリモートでの授業が一気に促進された。今後の課題は、家庭に持ち帰った際のWi-Fi環境の整備である。

☆安全・安心な学校・学級

・学校は、子どもたちにとって「安全、安心な場」でなければならない。また、それによって、子どもたちが「学校に行くのが楽しい」と感じてくれると考える。では、実際はどうか。アンケート結果では、保護者95.3%、児童94.5%が「楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている。つまり、ほとんどの子どもが「学校に行くのが楽しい」と感じてくれている。しかし、「あんまり」と答えた子が6人いることを見逃してはいけない。その子たちが、「あんまり」→「まあまあ楽しい」→「楽しい」と変容していくよう様々な手立てを講じていくことを、職員全員で再確認した。